

事業番号	13 01 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)			■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	水道事業(末端給水事業)	部局	企業局	課・室	水道事業課
		実施期間	S38 ~	E-mail	kigy@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	2-5 地域に根差した産業の振興 6-1 個性豊かな地域づくりの推進	4-1 県土の強靱化	4-5 地球環境への貢献		

1 現状と課題

目指す姿	<p><長野県公営企業経営戦略>(平成28年2月策定、令和2年度改定)</p> <p>「将来にわたり安全・安心な水道水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向けた、未来への計画的な投資、人材の確保・育成と広域連携の強化」</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様に安全・安心な水道水を安定的にお届けできるよう、アセットマネジメント(長期的収支予測に基づく資産管理)を活用して施設設備の計画的な更新等を実施 お客様サービスの充実に向け、関係市町村等との連携を強化するとともに、地域における官民連携を推進し、顧客満足度を向上 近年頻発する大規模災害等を踏まえ、基幹管路の耐震化を前倒して実施するとともに、災害発生時における広域的連携を強化 知事部局や市町村等と連携して設立した「長野県水道事業広域連携推進協議会」等において、広域化・広域連携等の取組を推進 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備の老朽化対策、耐震化、有収率向上対策 「安心の蛇口」の整備 市町村支援等の地域貢献 など 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 給水収益の増加が難しい状況の下、投資額の平準化等により経営の健全化に留意しつつ、水道施設の老朽化対策及び耐震化、危機管理対策等に引き続き計画的に取り組む必要がある。 水道の基盤強化を図るため、水道法改正を踏まえて令和2年10月に設置された「長野県水道事業広域連携推進協議会」等における取組等を通じ、広域連携の推進等を図っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年3月に改定した「長野県公営企業経営戦略」の着実な推進を図る。 「長野県水道事業広域連携推進協議会」等を通じて県内市町村等と連携し、持続可能な経営に向けた広域化・広域連携策や今後の水道のあり方等について引き続き検討を進めていく。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<p>✓ 未来への投資</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設設備の老朽化対策・耐震化の計画的な推進 施設設備の浸水対策の推進 水道施設のダウンサイジング検討・実施 <p>✓ リスクマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 「安心の蛇口」の整備(1か所) 危機管理体制の整備(受援体制マニュアル整備等) <p>✓ 地域への貢献・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 改正水道法の趣旨を踏まえ、関係市町村等との広域化・広域連携に向けた取組を推進 漏水調査機器の貸出及び技術支援による市町村有収率向上支援、市町村等水道事業者を対象とした相談窓口の運営や実務研修会の開催
	<p>DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組</p> <p>【DX】浄水場中央監視制御装置の更新とネットワーク化の推進 管路地図情報システムのモバイル化 水道料金のキャッシュレス決済(スマホ決済)の導入</p>

指標の状況及び目標値 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	経常収支比率	%	114.2	↗	115.3	↘	103.1	107.7
2	損益	千円	491,756	↗	514,419	↘	106,801	108,305
3	有収率	%	86.5	↗	86.7	↗	87.6	88.4
4	基幹管路の耐震適合率	%	92.8	↗	95.1	↗	95.5	97.6
5	重要給水施設に至る管路の耐震化ルート数(累計)	ルート	28	↗	29	↗	31	34
6	老朽管残存率	%	0.0	→	0.0	→	0.0	0.0
7	塩化ビニル管等の解消率	%	0.0	→	0.0	↗	23.1	32.6
8	「安心の蛇口」の整備数(累計)	箇所	9	↗	12	↗	14	15

区分(単位:千円)		R2年度	R3年度	R4年度
事業コスト	前年度繰越	802,306	1,063,854	
	当初予算	7,530,026	7,409,742	要求 7,922,160 予算案
	補正予算	-13,258	0	
	合計(A)	8,319,074	8,473,596	要求 7,922,160 予算案
	うち一般財源	0	0	要求 0 予算案
決算額(B)		6,774,268		
職員数(人)		45.0	44.0	

設定理由	成果指標	<p>「長野県公営企業経営戦略」(平成28年2月策定、令和2年度改定)に基づく指標</p> <p>1・2. 財政計画に基づき経常収支比率100%以上を維持し利益を確保</p> <p>3・7. 経営安定のための有収率(配水量に対し料金収入の対象となった水量)の向上</p> <p>4・5・6・7. 投資計画に基づく耐震化の推進</p> <p>8. 応急給水拠点「安心の蛇口」の整備</p>
	目標値	<p>「長野県公営企業経営戦略」(平成28年2月策定、令和2年度改定)に基づく指標</p> <p>1. 経常費用を経常収入で賄えているかどうかを示す指標であり、一般的に良いとされている水準(100%以上)を目標とする</p> <p>2. 1の水準を充足する前提の下、積み上げた予算上の経常収入と経常費用の差額(損益)を目標とする</p> <p>3・7. 総配水量のうち、どれだけの水量が収入となったかを示す指標であり、最新の全国平均数値(日本水道協会調べ)を目標とする</p> <p>4・5・6・7. 耐震化推進の投資計画に基づく当該年度の見込み数値を目標とする(長期目標 … 4:R6完了、5:R5完了、6:0.0%維持、7:R11完了)</p> <p>8. R4+1か所設置、計15か所(長期目標 … R7:20か所)</p>